



なは **社協** だより

4 月号

笑顔あふれる 支え合いのまち なは

～頼られる社協を目指して～



那覇市社会福祉協議会は地域で様々な生活課題を抱えている人や家族のために、
住民や企業、福祉・保健・医療等の関係者が連携し、
誰もが安心して地域で暮らしていける福祉のまちづくりを進めます。



もくじ

社協とは 1
特集 社協でできること、
知れる情報 2・3

生活支援サポーター 交流会
こどもの居場所代表者連絡会 4
識名福祉まつり・小禄福祉まつり 5

集まった使用済み切手の行き先 6
盲導犬のボランティア募集 7
寄贈・寄附ご芳名 8



なは社協で利用できること、知れる情報を紹介します♪



なは社協
ホームページ



詳しくは、なは社協HPから 問い合わせ ☎098-857-7766

福祉のまちづくり・居場所づくり

一緒に福祉の
まちづくりませんか？
会員・ボランティア
募集中

- 趣味や子育てサロンなどの活動をする交流の場
「ふれあい・いきいきサロン」の支援

47か所

127か所

- 住民とボランティアでつくる健康づくり・生きがいづくりの場
「ふれデイ」の支援

- 共同募金や寄付を充てて、地域の福祉活動や交流イベント、ボランティア団体などを応援する「助成」

- 自治会役員や近隣のボランティアなどが見守り訪問する「地域見守り隊」

- 災害ボランティアをマッチングする「災害ボランティアセンター」

70か所

- 移送支援など高齢者が地域で暮らし続けられるような「仕組みづくり」



- じぶんの町をよくする仕組み
「赤い羽根共同募金」
「歳末たすけあい募金」



ふくしの相談

- 生活上の心配事など何でも無料で相談できる
「ふれあい福祉相談室」

司法書士や弁護士にも
相談できます

- 生活費や教育費など
「福祉資金の貸し付け」



- 住民らから寄贈してもらった食糧を必要な方に届ける「フードドライブ」

寄贈したい方、食糧支援を受けたい方も
相談ください

- 福祉サービス利用のお手伝いや公共料金の支払い、書類の預かりなど、**金銭管理や自立支援のサポート、成年後見に関すること**



子ども・子育て世代

- 育児の相談やサポート（オムツ交換、沐浴、離乳食導入、子育てに関する助言など）
- 会員同士で子育て（送迎、預かりなど）を支えあう「ファミリーサポートセンター」
- 未就学児の親子が集まる「つどいの広場」
- 0～18歳が自由に利用できる「児童館」



障がい者

- 障がいがある方の外出、移送を担う「リフト送迎車 うまんちゅ号」
- 当事者同士で情報交換や相談する「ゆんたく相談室」



- 介護が必要な方の生活を支えるヘルパー派遣「ホームヘルプステーションわかば」
- かかりつけ医や服薬状況などの情報をまとめ、自宅冷蔵庫に保管する「緊急医療情報キット」の配布（対象は高齢者や障がい者）

高齢者

- ボランティアによる買い物やお片付けなど「生活支援サポーター」
- 60歳以上が利用できる健康づくりやレクなどの講座や同好会を楽しめる「老人福祉センター・憩の家」
- 通所介護サービス「デイサービスあしびなー」



2年振り！生活支援サポータースキルアップ講座・交流会を開催

高齢者の方へ家事支援が円滑に行えるよう認知症に関するスキルアップ講座とサポーター同士の交流会を開催し、13名のサポーター方が和気あいあいとした雰囲気の中で学び、交流しました。

第1部の「認知症サポーター養成講座」では、講師を那覇市ちやーがんじゅう課・那覇市地域包括支援センターかなぐすくの職員が担当し、認知症の方への接し方などを学びました。

第2部の「地域支え合い訪問型サービス事業」の説明と交流会では、グループワークを通して日頃の活動等について話し合いました。

今後関係機関・サポーターと協力し、安心して生活が送れる体制づくりを行いたいと思います♪ご参加いただいた皆様、ありがとうございました(担当:山城博子)



子どもの居場所代表者連絡会 開催！

「なは子どもの居場所ネットワーク」では多様な子どもの居場所の活動を通して、子どもたちの自己肯定感を育み、子どもの権利が守られる地域づくりを目指しています。

1月31日午前と2月4日夜に、『こんなときどうしてる?～個別支援・ボランティア不足～』をテーマに代表者連絡会を開催しました。

前半是那覇市就職・生活支援パーソナルサポートセンターの職員、那覇市教育委員会の寄添支援員を招き、那覇社協のCSW(コミュニティソーシャルワーカー)も加わって、それぞれの事業について紹介してもらいました。

後半はグループワークを通じて、自分の居場所の良い所、今後の目標を共有し、現在困っている事について共に考える機会にしました。両日合わせて29団体の運営者が参加し、「これを機に、困った時に繋がれる関係になれると良いな」「みなさんのお話を伺い、意見交換も有意義でした」という声が聞かれました。

これからも居場所同士でつながり、関係機関とのより一層の連携を深めていきたいです。(担当:松長)



那覇市地域ふれあいデイサービス サポーター研修in嘉手納！

地域ふれあいデイサービスレク支援員の技術向上、他社協の先進的な活動を学ぶことを目的に1月30日(木)、サポーター研修として嘉手納町社協のミニデイの担当職員と情報交換会、嘉手納町シニアヒップホップクルーの活動を見学、ヒップホップダンスを体験して交流会を行いました。

メンバーには最高齢95歳の方が参加しており、平均年齢85歳とは思えないほどハードな動きを取り入れた本格的なヒップホップダンスを練習しており、とても活気あふれる活動を行っていました。

ヒップホップダンスが高齢者の介護予防につながっている新たな視点を学ぶことができ、本会でもヒップホップダンスなど皆さんが楽しく活動できるような運動メニューを積極的に取り入れていきたいと思えます！(担当:武川)



識名老人福祉センター・児童館 地域福祉まつり 開所40周年記念(昭和60年2月開所)

識名老人福祉センター・児童館の「開所40周年記念第18回識名地域福祉まつり」を2月14日(金)・15日(土)に、同館で開催しました。2日間で1000人超が来場し、大いに賑わいました。

40周年を記念し、特別功労者表彰として当施設に長年貢献された個人5名、2企業、2団体の皆様、そして90歳以上の利用者17名を、栗栖香代子まつり実行委員会会長が表彰しました。

利用者による舞台発表や作品展示コーナー、近隣の保育園や中学校の出演は観客を笑顔に。屋外では飲食や手工芸品の販売ブースを、児童館ではゲームコーナーを設け、子どもたちや来場者で活気にあふれていました。

ご参加・ご来場いただいた皆様のおかげで良い記念日を迎えることができました。ありがとうございました。(担当:安村)



第13回うるく地域ふれあい祭り

第13回うるく地域ふれあい祭りを2月22日(土)、小禄老人福祉センター・児童館で開催しました。

オープニングセレモニーではうるくエイサー隊講座と民謡同好会の演舞、那覇市古謝副市長ら関係者によるテープカットで幕開けしました。式典では字小禄自治会青年部の旗頭と子ども獅子や小禄こども園、ひまわり保育園の園児達のダンスで盛り上がり、さらに90歳以上の高齢者の表彰も行い、多くの来館者で賑わいました。(担当:十文字)



集まった切手はどうなる？ 購入者 琉球郵趣会の鎌田さん

那覇市社協ではボランティアBOX(切手ハガキ等収集BOX)などで、企業や個人が集め寄贈してくれた使用済み切手を、切手仕分けボランティアさんが毎週火曜日に、封筒の余分なスペースを切るなど整理をしています。そして、那覇市社協に貯まった切手を購入してくれるのが琉球郵趣会の鎌田さんです。今回は、鎌田さんと、切手の魅力について紹介します。

琉球郵趣会は県内の切手収集家で作る会。メンバーは高齢化が進み、現在は5人ほど。鎌田さんは会員では一番若い57才で、小学校3年ごろの切手ブームをきっかけに切手に心を奪われて約半世紀となるそうです。購入した切手は毎月10キロほどを仕分けしながら「時間を忘れて眺めてしまう」と笑顔で話します。

那覇市社協で集めている切手は、現在普通に使われている(日本)切手と、米軍統治下時代にやりとりされた郵送物(封筒や文書ごと)です。

日本切手のレア度は、切手や取扱郵便局、消印の珍しさ、おされている消印が切手内に全て入っている「満月」かどうかで決まるそうです。

米軍統治下の郵送物では、沖縄で販売されていた「琉球切手」から日本切手同様にレア物を探すほか、国際郵便として扱われていた時代背景などの魅力や、宛名や文書からは今は存在しない住所や会社など当時を知る貴重な資料としての価値もあるそうです。

鎌田さんは「琉球切手は沖縄の人がデザインしていて、独特の色使いやモチーフがある。当時の社会を知る資料として、保存し、私も次世代に残していきたい」と話しました。

琉球郵趣会への問い合わせはメール:ryukyuyushu@yahoo.co.jpまで。



「満月」とされる消印



B円時代の切手



ドル時代の航空郵便

●使用済み切手や、米軍統治下時代の郵便物をご提供ください。

琉球政府時代の沖縄発着の郵便物は切り取らずにご寄贈ください。

詳しくは那覇市社協にお問い合わせください。

「沖縄ハーネスの会」盲導犬に関するボランティア募集!

「沖縄ハーネスの会」は地域の皆様に盲導犬や補助犬への理解を深めてもらう為に活動している有志の会で、県内にいる盲導犬8頭とそのユーザー(使用者)や支援者がメンバーです。そんな「沖縄ハーネスの会」マーチ君からボランティア募集のメッセージが届きました。



「ワンワン！盲導犬のマーチです。みんなに応援してほしいことがあるんだ！実はこの前、パパ(ユーザー)が入院したときに、救急車には乗れたけど病院では外に出されちゃった。だから、マーチのことを少しの間だけ預かってもらえると嬉しいの。それに、僕たちが盲導犬を引退した後に、引退犬飼育ボランティアになって可愛がってほしいんだ。もっと盲導犬ユーザーが増えるように、沖縄ハーネスの会を盛り上げてほしいな。私たち盲導犬も、みんなともっと仲良くなりたいな。ワンワン！」

---盲導犬について詳しくない担当なので、実際に盲導犬の一時預かりボランティアをしている「チャオママ」こと新垣さんにお話を伺いました。---



担当

盲導犬一時預かりボランティアを始めたきっかけは何ですか？

ずっと興味があったからです。小学生の頃から盲導犬に関する本を読んでいました。今も家族の一員としてキャリアチェンジ犬を受け入れています。



チャオママ



担当

チャオママさんは元々、盲導犬に興味があったんですね。でも盲導犬とペットを預かるのとでは違いませんか？受け入れの際に特に気を付けることもありますか？

オモチャやオヤツの決まり事や、トイレをさせる合図があります。でもお預かりの時にユーザーさんが教えてくれるので、心配はありませんよ。



チャオママ



担当

犬好きにとっては、とても素敵なボランティア活動と言えそうですね。

はい。盲導犬を身近に感じることで、滅多にないチャンスなので♪



チャオママ

一時預かりや引退犬飼育のボランティアについての質問・問い合わせ・講話依頼などは沖縄ハーネスの会まで、メール:okinawaharness@outlook.comまたはfacebookから直接お問い合わせください。

(担当:上原かおり)

“QRコード”の読み込み 悪用注意

全国的に二次元バーコード(QRコード)の読み込みを使った悪用が広がっています。那覇市社協でも案内時などに確認しますが、ご利用の皆さまもご注意ください。もし、那覇市社協の広報物などで悪用を確認しましたら、**企画総務課(098-857-7766)**までご連絡ください。

チェックポイント

- ①張り替えられていないかを見て・触ってチェック
- ②読み込み先のURLを確認
- ③怪しかったら、読み込まない



【お礼とご報告】

個人・団体・企業の皆様

ボランティアBOX活動へご協力賜りました、個人22名・99団体企業の皆様へ、心より感謝申し上げます。

集まった切手は **合計 45kg**

書き損じハガキは **合計 594枚** でした。

換金後は支援物資を購入し、必要な世帯へ提供しています。これからも、どうぞよろしくお願いいたします。
那覇市ボランティア・市民活動センター(那覇市社会福祉協議会内)
電話:098-857-7766 mail:7766volu@nahasyakyo.org

広告

医療保険療養費支給申請ができます

ご自宅や介護施設まで出張施術します

沖縄本島全域、および宮古島、伊良部島、石垣島、八重山諸島、久米島、伊江島で訪問治療します。

治療内容 はり、お灸、マッサージ

琉球治療院

詳しくはwebを参照! 琉球治療院 検索

お気軽にお問い合わせください 【営業時間 9:00~18:00】 0120-680-006

JAおきなわ小禄支店53万円余寄附

沖縄県農業協同組合(JAおきなわ)小禄支店は2月6日、那覇市社協に53万8070円を寄附した。同1日に開催した同支店感謝祭の「ありがとう朝市」で販売された野菜の売り上げ金。

国場利明支店長は「地域の皆様への日頃の感謝の気持ちとして寄附させていただきます」とあいさつした。同支店による寄附金は今回で16回目、計181万円となった。



農協まつりでの収益金51万円余を那覇市社協へ寄附

沖縄県農業協同組合(JAおきなわ)真和志支店は2月21日、社会福祉に役立ててほしいと、那覇市社協に農協まつりでの収益金51万5680円を寄附した。

伊良波副支店長は「まつりには1800人余りの方々が来場した。地域の活性化と当日祭りへの地域の皆様のご協力に感謝し、物価高騰が続いている中で生活に困っている方への支援になってほしい」と話した。同支店は昭和56年から寄附を続けており、今回で41回目、計1111万8717円となった。



寄贈者ご芳名(敬称略)

令和7年2月

67件 1843.3千円

物資寄贈(2月)

宮城千賀子、嶺井聖也、有限会社サニー
沖縄、那覇青果物卸商業協同組合、沖縄県那覇市倫理法人会、大典寺、沖縄ヤクルト株式会社、合資会社富士物産、沖縄県労働金庫おもろまち支店、糸満漁業協同組合、カーブス(イオン那覇店・那覇壺川店)、沖縄JTB株式会社、ケンタッキーフライドチキン壺川店(テラスホテルズ)、ケンタッキーフライドチキン小禄店(株式会社リウエン商事)、コープあづるタウン、コープおろく、コープこくば、コープ寒川、コープ豊見城センター、エンカレッジ小禄保育園、こくら保育園、いちごえ保育園分園、天久ひばり保育園、こじか保育園、マリア保育園、風のうた保育園、よぎ南保育園、首里当蔵保育園、おこな愛児保育園、若杉保育園、向陽保育園

フードドライブ連携

市内の郵便局窓口37か所、沖縄ファミリーマート31店舗、リウボウストア7店舗、石嶺公民館と、物資を寄贈いただいた皆さま

令和6年度4~2月

寄贈総計

683件 20,990千円

「もったいない」を「ありがとう」に変える



フードドライブ



ご家庭で、使いきれずに保管したままになっている「もったいない食品」などを、那覇市内の郵便局窓口やファミリーマート(一部店舗)、リウボウストア、石嶺公民館にある「フードボックス」へ寄贈ください!

那覇市内にある子どもの居場所や生活困窮世帯などでおいしい食事として活かされます。

ご寄附いただきたい食品 ※保存がきくもの(アルコールは不可)

お米・粉もの・缶詰・レトルト食品・インスタントラーメン等の乾麺・お菓子・缶やペットボトルに入った飲料など



寄附食品の条件

- 未開封の食品 (包装や外装が破損していないこと、中身に異常がないもの)
- 常温で保存が可能な食品
- 賞味期限が1か月以上残っている食品 (賞味期限が明記されているもの)
- 製造者名が記載されている食品
- お米は精米日から一年以内のもの

※お寄せいただいた食品について、腐敗等、使用に適さないと判断した場合には、処分させていただきますのでご了承ください。

(担当: 地域福祉課)

寄附者ご芳名(敬称略)

令和7年2月

676,975円

一般寄附

米内山まり、沖縄県農業協同組合 小禄支店、小野建沖縄(株)中部センター、小野建沖縄(株)西崎センター、沖縄看護専門学校、クラウドライク(株)、小禄こども未来会、小禄児童館、浦崎ともこ(マルシェ有志一同)、手塚謙次

おぎんスマート

・ちばりよーな〜ふあ 11件

6,200円

令和6年度4月~2月

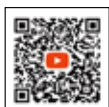
寄附金総額

19,234,898円

※那覇市社会福祉協議会が実施する事業及び福祉サービスにおいては、個人情報保護規定を定め、個人情報の種類・利用の目的・提供方法について、適法かつ適正な方法で対応いたします。



SNSやコミュニティFM(FM那覇「それいけ!みんなのなは社協」)で発信しています。YouTubeの二次元バーコードは最新の放送の配信です。



なは社協だより
アーカイブ



この印刷製品は、環境に配慮した
資材と工場で製造されています。



ミックス
紙に責任ある森林
管理を支えています
FSC® C166756